

知床硫黄山の火山活動解説資料（令和元年 7 月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

・火口や噴気の状況（図 1～3）

29日に実施した上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、山頂付近や北西側中腹の爆裂火口などに噴気は認められませんでした。赤外熱映像装置による観測では、北西側中腹の爆裂火口で弱い地熱域を確認しましたが、前回（2018年 7 月）と比較して特段の変化は認められませんでした。

また、カムイワッカ川の河口付近の海岸には、前回と同様に温泉水による変色域が確認されました。

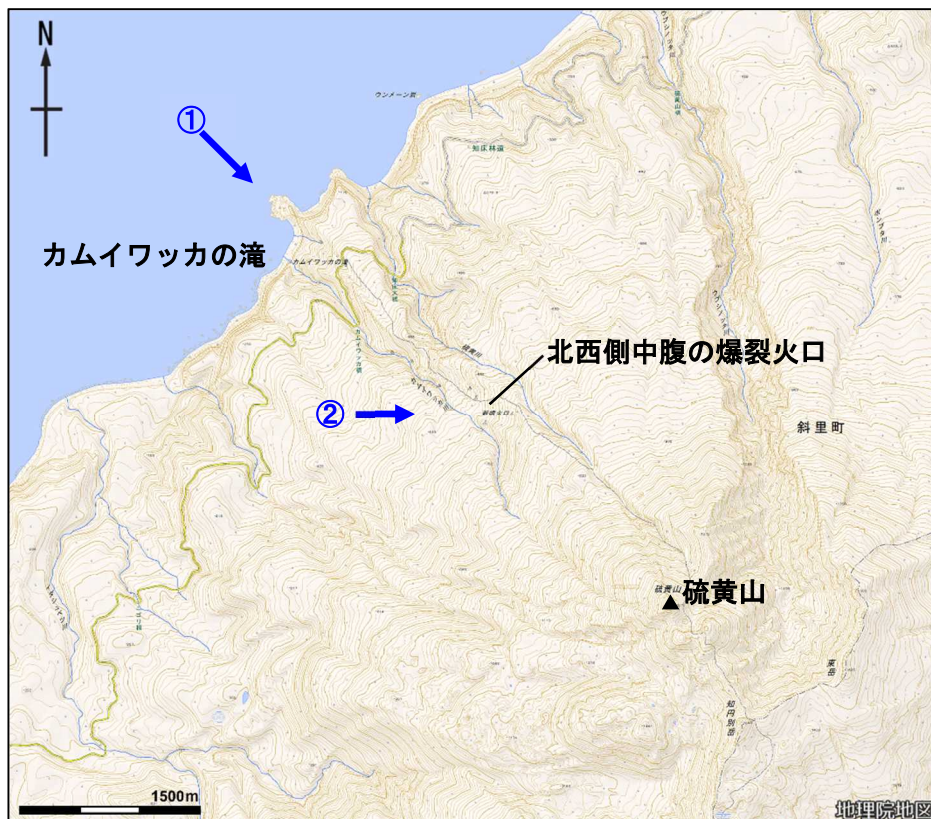


図 1 知床硫黄山 周辺図と写真の撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平 29 情複、第 958 号）。



図2 知床硫黄山 北西側からみた山体および海岸付近の状況

図1の①から撮影

- ・噴気は認められませんでした。
- ・海岸付近には温泉水による変色が認められました。

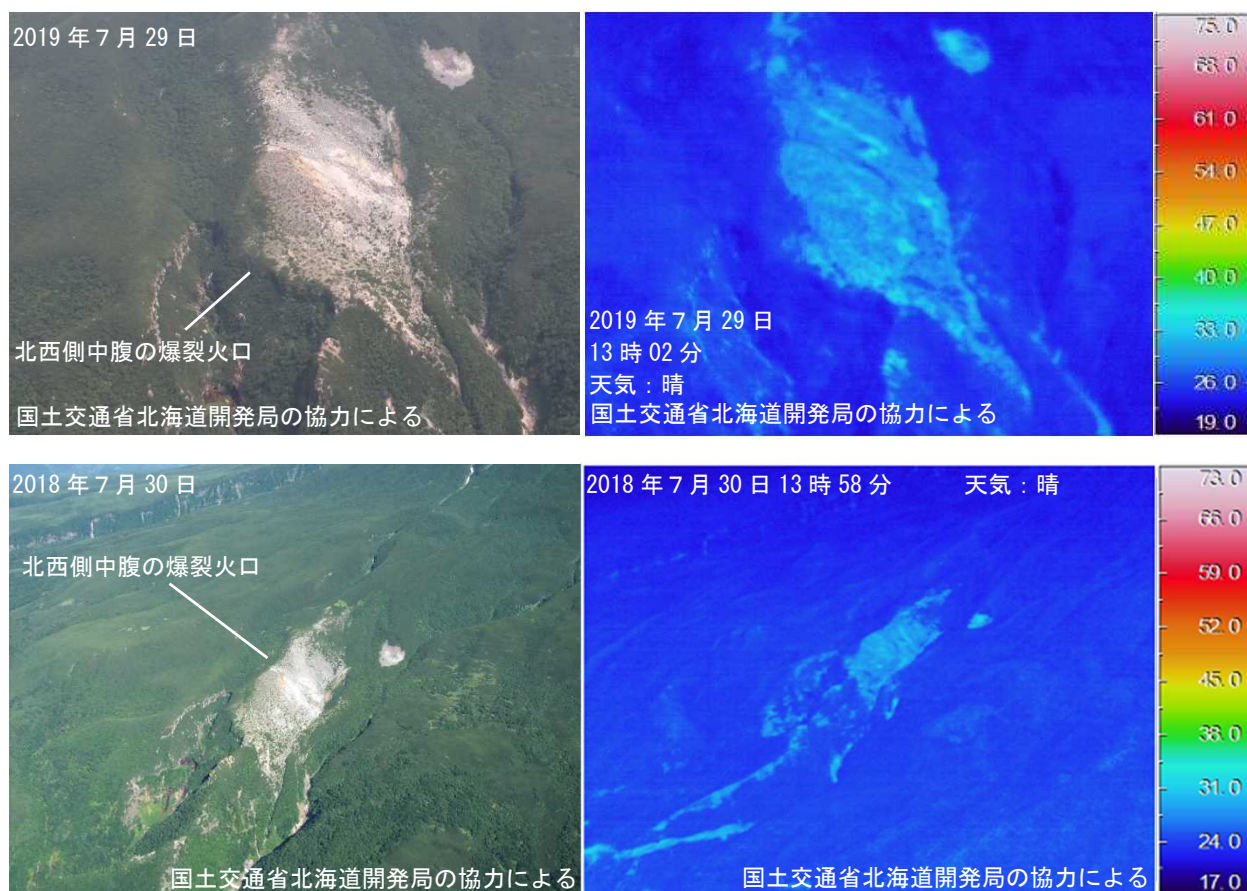


図3 知床硫黄山 赤外熱映像装置による北西側中腹の爆裂火口の地表面温度分布比較

上図は北西側（図1の①）、下図は西側（図1の②）から撮影

- ・北西側中腹の爆裂火口で弱い地熱域を確認しましたが、前回（2018年7月）と比較して特段の変化は認められませんでした。